笑顔あふれるセカイを増やす

altplus

資金調達に関する補足説明資料

詳細は、「第三者割当による新株式及び第13回乃至第15回新株予約権の発行、第１回無担保普通社債（私募債）の発行、買取契約の締結、定款の一部変更並びに第11回新株予約権及び第12回新株予約権の取得及び消却に関するお知らせ」を参照ください。

株式会社オルトプラスホールディングス
証券コード：3672（東証スタンダード）

2026年11月12日

当社グループパーパス（存在意義）

笑顔あふれるセカイを増やす

altplus

当社グループは、ゲームというエンターテインメントを通じて、
ユーザーをはじめとして、従業員、株主の皆様、お取引先など、
当社を取り巻く人々の「笑顔」につながる新しい価値観を創造・
提供してまいります。

笑顔あふれるセカイを増やす

altplus

１．本資金調達の目的と背景
２．本資金調達の概要
３．本資金調達の資金使途
４．本資金調達に関するＱ&Ａ

１．本資金調達の目的と背景

（１）当社グループの現状（2026年９月期 連結業績）

売上高	営業損失	親会社株主に帰属する当期純損失	現金及び現金同等物
2,568百万円	△636百万円	△1,281百万円	645百万円
前期比 11.4%減	前期 △467百万円	前期 △434百万円	営業CF △508百万円

13期連続の営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する当期純損失を計上
継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在

新規タイトルの収益化と、資本業務提携先との協業・M&Aによる収益機会の多様化が急務
営業活動による資金の流出が続く中、これらの施策に必要な資金を手元資金のみで賄うことは困難

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。詳細は、2026年11月12日開示の「2026年９月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

１．本資金調達の目的と背景

（２）収益構造改善と持続的成長のための事業基盤強化の必要性

課題　収益構造の改善
財務基盤の安定化

現在の取り組み

国内・海外IP獲得・開発
『カリスマダミス』開発（2027年春リリース予定）
『イルシール』ローカライズ（2027年内リリース予定）
持株会社体制への移行（2026年10月）

今後必要な打ち手

機動的な投資による収益基盤の回復・強化

持続的かつ安定的な事業運営の実現

１．本資金調達の目的と背景

（３）新規タイトルの開発・運営資金の確保

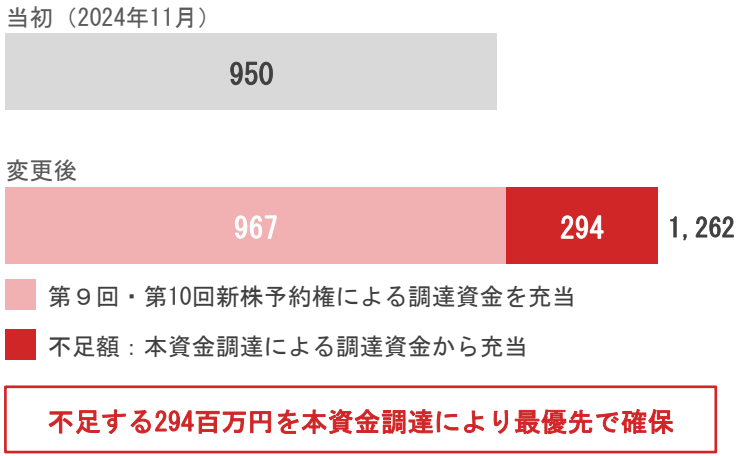
第９回・第10回新株予約権による調達

- 2026年10月14日までに全ての行使が完了
- 調達額1,023百万円（差引手取額1,006百万円）

必要額の増加要因

- **『カリスマダミス』**：品質向上のためリリース時期を2027年春に変更。開発期間の延長に伴い人件費等の開発費用及びプロモーション費用が増加
- **『イルシール』**：2026年９月にライセンス契約を締結し、ローカライズタイトルとして追加

①新規タイトルの開発・運営資金の必要額（百万円）



不足する294百万円を本資金調達により最優先で確保

（注）詳細は、2026年11月12日開示の「第三者割当による第９回及び第10回新株予約権並びに第11回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第12回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

１．本資金調達の目的と背景

（４）マーケティング体制強化・シナジー創出に向けたM&A・資本業務提携

背景
- モバイルゲーム市場は競争激化
- タイトル成功にはリリース後のマーケティング戦略が重要
- 単発広告ではなくブランド価値を高める共創パートナーが必要

株式会社オカザキホールディングスの株式取得を伴う資本業務提携

笑顔あふれるセカイを増やす altplus



OKAZAKI HOLDINGS

マーケティング領域における総合的・戦略的なパートナー

詳細につきましては、2025年11月20日開示の「株式会社オカザキホールディングスとの資本業務提携及び第三者割当増資引受け等による同社株式取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」、2026年４月23日及び同年８月27日開示の同お知らせの一部変更に関するお知らせ並びに2026年11月12日開示の「第三者割当による第９回及び第10回新株予約権並びに第11回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第12回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

（５）第11回・第12回新株予約権のリファイナンスによる資金調達の確実性向上

01	既存新株予約権の行使停滞	■ 株価が第11回の下限行使価額（30円）を下回る場面が増加 ■ 第11回・第12回による調達額は合計638百万円 ■ 第12回は行使価額を30円に修正後も行使なし
02	既存新株予約権の取得・消却	■ 第11回の残存する全部（548,120個）を取得・消却 ■ 第12回のGファンド保有分（920,000個）を取得・消却 ■ 石井氏・岡崎氏保有の第12回（380,000個）は存続
03	蓋然性の高い新スキーム	■ 本新株式・本社債で払込期日に219百万円を確保 ■ 行使価額を３円に固定し、行使の蓋然性を向上 ■ 第15回の行使代金で本社債を順次償還

収益構造の改善と財務基盤の安定化へ

当社は、本資金調達により調達する資金を①新規タイトルの開発・運営資金、②M&A資金（株式会社オカザキホールディングス）、③M&A資金（その他）及び④本社債の償還資金に充当する予定です。なお、③について支出予定時期において具体的なM&A案件がない場合は、暗号資産の購入に充当する予定です。

（６）ジーイエット株式会社に対する本新株式の割当て

01	資本関係の強化	■ 当社の主要株主である筆頭株主・その他の関係会社 ■ 本新株式23,000,000株を割当て ■ 当社グループとの資本関係を一層強化
02	業務提携の実効性向上	■ 2026年２月24日に資本業務提携契約を締結 ■ ITインフラ・DX施策、デジタルマーケティングの支援 ■ IPビジネスの共同活用、新規事業の検討
03	払込期日における確実な資金確保	■ 新株予約権の行使状況に左右されない調達 ■ 払込期日（2026年12月25日）に69百万円を確保 ■ 本社債とあわせ①新規タイトル資金に優先充当

資本業務提携の推進と確実な資金確保へ

本新株式の発行により調達する資金は、本社債の発行により調達する資金とあわせて、①新規タイトルの開発・運営資金に優先的に充当いたします。なお、ジーイエットからは、取得する当社株式について中長期保有の方針である旨を口頭で確認しております。

笑顔あふれるセカイを増やす

altplus

1．本資金調達の目的と背景

2．本資金調達の概要

3．本資金調達の資金使途

4．本資金調達に関するQ&A

２．本資金調達の概要

	本新株式	第13回・第14回新株予約権	第15回新株予約権	合計
割当予定先 （第三者割当）	ジーイエット株式会社	G Future Fund１号 投資事業有限責任組合	EVO FUND	――
株式数 （普通株式）	23,000,000株	第13回　154,500,000株 第14回　38,000,000株	80,000,000株	295,500,000株
調達額（総額）	0.69億円	第13回　4.64億円 第14回　1.14億円	2.40億円	8.87億円
希薄化率	23.34%	第13回　156.78% 第14回　38.56%	81.18%	299.87%
発行・行使価額 （１株あたり）	３円	３円（固定）	３円（固定）	――
発行決議日	2026年11月12日			――
定時株主総会	2026年12月24日			――
払込期日・割当日	2026年12月25日			――
行使期間	――	第13回　2026年12月28日～2029年12月28日 第14回　2028年１月１日～2031年１月６日	2026年12月28日～2028年12月29日	――
その他	――	原則として本社債の全額償還後に限り行使可能（EVOLUTION JAPAN証券株式会社の同意がある場合を除く） 第14回は2027年12月開催予定の定時株主総会で発行可能株式総数の増加が承認された場合に限り行使可能	譲渡の際は、当社取締役会の承認が必要 行使代金は本社債の繰上償還に優先的に充当	――

２．本資金調達の概要

本資金調達は、2026年12月24日開催予定の当社定時株主総会において、本新株式及び本新株予約権の有利発行、本資金調達による大規模な希薄化及び発行可能株式総数の増加に係る定款の一部変更等に関する議案が承認されることを条件としております。本資金調達に伴って、以下の内容を株主総会に付議することを決議しております。

・**有利発行**（本新株式及び本新株予約権）

・**本資金調達による大規模な希薄化**

・**定款の変更**（発行可能株式総数の増加　359,000,000株⇒**394,172,932株**）

また、以下を実施いたします。
・本資金調達の一環として、EVO FUNDに対する第１回無担保普通社債（総額150百万円、利率年0.0%、払込期日2026年12月25日、償還期日2028年12月29日）の発行。本社債は、第15回新株予約権の行使に伴い払い込まれた金銭により順次繰上償還いたします。
・本資金調達と同時に、第11回新株予約権の残存する全部（548,120個）及び第12回新株予約権のうちGファンドが保有する全部（920,000個）の取得及び消却

笑顔あふれるセカイを増やす

altplus

1．本資金調達の目的と背景

2．本資金調達の概要

3．本資金調達の資金使途

4．本資金調達に関するQ&A

３．本資金調達の資金使途

本資金調達によって調達する資金の額は合計約874百万円※となる予定であり、調達する資金の具体的な使途については、次のとおり予定しています。

※発行諸費用控除後の金額

	資金使途	金額（百万円）	支出予定時期
①	新規タイトルの開発・運営資金	294	2027年１月～2027年９月
②	M&A資金（株式会社オカザキホールディングス）	282	2027年１月～2027年９月
③	M&A資金（その他）	147	2027年１月～2030年12月
④	本社債の償還資金	150	2026年12月～2028年12月
	合　計（本資金調達発行諸費用控除後）	874	

（注）百万円未満切捨て（端数処理の関係上、合計と一致しません）。本社債の発行により調達する150百万円は①に充当し、④には第15回新株予約権の行使により調達する資金を優先的に充当いたします。③について支出予定時期に具体的なM&A案件がない場合は、暗号資産の購入に充当する予定です。

笑顔あふれるセカイを増やす

altplus

１．本資金調達の目的と背景

２．本資金調達の概要

３．本資金調達の資金使途

４．本資金調達に関するQ&A

４．本資金調達に関するQ&A

質　問	回　答
調達する資金の使途は何ですか？	下記の目的に充当いたします。 ① 新規タイトルの開発・運営資金 ② M&A資金（株式会社オカザキホールディングス） ③ M&A資金（その他） ④ 本社債の償還資金
今回の資金調達スキームを選んだ理由は何ですか？	本資金調達は、ジーイエットに本新株式を、Gファンドに第13回及び第14回新株予約権を、EVO FUNDに第15回新株予約権及び本社債を、それぞれ割り当てるものです。 当社は、第11回及び第12回新株予約権の行使が当初想定どおり進まなかったことを踏まえ、(a)本新株式及び本社債の発行により払込期日に一定の資金を確保できること、(b)行使価額を３円に固定することで行使の蓋然性を高められること、(c)第15回新株予約権の行使代金により本社債を段階的に償還できることから、既存株主の利益に配慮しつつ必要資金を高い蓋然性にて調達できるスキームとして、本スキームを選択いたしました。
割当先が行使により取得した株式を継続保有する可能性はありますか？	EVO FUNDは、純投資を目的としており、第15回新株予約権の行使により取得する当社普通株式について、株価推移により適宜判断の上、売却時は常にマーケットへの影響を勘案しつつ、基本的に市場内で売却する方針である旨を口頭にて確認しております。 ジーイエット及びGファンドからは、取得する当社株式について中長期保有の方針である旨を、またGファンドからは、当社の資金需要に応じて権利行使を行い、本新株予約権を割当後短期的な期間内に第三者に譲渡することはない方針である旨を、口頭で確認しております。
本スキームの特徴は何ですか？	本新株式及び本社債の払込みにより、払込期日に合計219百万円を確保できます。また、本新株予約権は行使価額（３円）及び目的となる株式数（合計272,500,000株）が固定されているため、資金調達の最大額及び最大交付株式数が固定されております。

４．本資金調達に関するQ&A

質　問	回　答
期間内に行使が完了しない可能性はありますか？	本新株予約権には割当予定先による行使を義務付ける条項はなく、株価が行使価額（３円）を長期的に下回る状況等では行使が進まない可能性があります。なお、Gファンドは、原則として本社債の全額が償還された後に限り第13回及び第14回新株予約権を行使することができます。
希薄化の規模はどの程度ですか？	299.87%（2026年10月14日現在の発行済株式総数に対する比率です。うち、本新株式が23.34%、第13回新株予約権が156.78%、第14回新株予約権が38.56%、第15回新株予約権が81.18%です。）本新株予約権の目的となる株式数は固定されており、希薄化率が当初予定より増加することはありません。なお、第11回及び第12回新株予約権（Gファンド保有分）の取得・消却により潜在株式146,812,000株が消滅するため、株式数及び潜在株式数の純増は148,688,000株となります。
株式はいつ発行されますか？	本新株式は、払込期日である2026年12月25日に発行されます。第15回新株予約権に関しては、行使期間（2026年12月28日～2028年12月29日）中に、割当予定先の裁量で段階的に行使される予定です。 第13回新株予約権（行使期間：2026年12月28日～2029年12月28日）及び第14回新株予約権（行使期間：2028年１月１日～2031年１月６日）に関しては、原則として本社債の全額償還後に、当社の資金需要に応じて行使される予定です。なお、第14回新株予約権は、2027年12月開催予定の定時株主総会で発行可能株式総数の増加が承認された場合に限り行使することができます。
なぜ第11回及び第12回新株予約権を取得・消却するのですか？	第11回新株予約権は、当社株価が下限行使価額（30円）を下回って推移する場面が多くなったことなどから行使が進まず、第12回新株予約権は行使価額を30円に修正した後も行使がなく、両新株予約権による調達額は発行価額を含め合計638百万円に留まっております。当社は、これらの行使のみに依存した資金調達には限界があると認識し、第11回新株予約権の残存する全部及び第12回新株予約権のうちGファンドが保有する全部を取得・消却したうえで、より蓋然性の高い本スキームによるリファイナンスを行うことといたしました。

４．本資金調達に関するQ&A

質　問	回　答
本社債はどのような仕組みですか？	EVO FUNDに対して総額150百万円（利率年0.0%、払込期日2026年12月25日、償還期日2028年12月29日）の本社債を発行し、払込期日において資金を確保いたします。第15回新株予約権の行使に伴い払い込まれた金銭は本社債の繰上償還に優先的に充当され、本社債に係る当社の負債は段階的に解消される設計となっております。なお、当社株価の終値が基準金額（３円）以下となった場合や払込期日から６ヶ月が経過した日以降等には、社債権者は繰上償還を請求することができます。
なぜ本新株式の発行価額及び本新株予約権の行使価額が３円なのですか？	割当予定先より、当社の財務状況及び本第三者割当がもたらす既存株式の大規模な希薄化の可能性による当社株価の下落リスクを考慮すると、３円が上限である旨の説明を受けております。当社としても、大幅なディスカウントを避けて希薄化を抑えたスキームでは必要な資金を確保できないことから、本第三者割当が現在の当社にとって唯一かつ最善の手段であると判断いたしました。なお、本新株式及び本新株予約権の払込金額は割当予定先に特に有利な金額に該当するため、本定時株主総会において有利発行に係る特別決議による承認を得ることを条件としております。
株主総会で承認されなかった場合はどうなりますか？	本件は、2026年12月24日開催予定の本定時株主総会において、本新株式及び本新株予約権の有利発行、本資金調達による大規模な希薄化及び発行可能株式総数の増加に係る定款の一部変更等に関する議案が承認されることを条件としております。そのため、これらの議案が承認されなかった場合には、本新株式、本新株予約権及び本社債は発行されません。
第14回新株予約権の行使にはどのような条件がありますか？	第14回新株予約権は、2027年12月開催予定の当社定時株主総会において発行可能株式総数の増加に係る定款の一部変更が承認された場合に限り行使することができ、当該承認が得られなかった場合には、当社は第14回新株予約権を取得し、消却する予定です。また、第13回新株予約権と同様に、Gファンドは原則として本社債の全額が償還された後に限り行使することができます。
株主の皆様の意思確認はどのように行いますか？	本資金調達により希薄化率が25%以上となることから、取引所の有価証券上場規程第432条に基づき、本定時株主総会に付議する本第三者割当に関する議案の中で、本第三者割当の必要性及び相当性をご説明した上で、当該議案が承認されることをもって株主の皆様の意思確認をさせていただくことといたします。

本資料の取り扱いについて

本発表に於いて提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在に於ける見込み、予測及びリスクを伴なう想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界及び市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行なう義務を負うものではありません。

笑顔あふれるセカイを増やす

altplus